



野菜ハイキング



青少協では、5校(亀井野、石川、天神、俣野、六会)の小学生を対象に、毎年野菜をかえて行っています。

暑い中、畑までの道のりを頑張って歩きました。
子供達の背丈より高いトウモロコシ畑を見て子供達は興奮していました。茹でたトウモロコシは甘く、美味しくいただきました。



青柳正雄氏農園にて

とうもろこしハイキング

7月17日(土) 亀井野小学校
参加者 45名

- 1年 とうもろこしを、もいたのがおもしろかった。ちっちゃいとうもろこしと、でっかいとうもろこしがあった。
2年 とうもろこしをとるときはっぱがあたっていたかったけどたのしかった。
4年 とうもろこしを、畑で食べた時すごく甘くておいしかった。
又イベントがあったら絶対来たいです。
5年 ハイキング楽しかったです。取るとき葉っぱがいたくてうまく進めなかったけどいっぱいもらえてうれしかったです。
保護者 ハイキングは畑の中を歩いて気持ちよかったです。とうもろこし畑はジャングルのようで子供達は楽しそうでした。

さつまいもハイキング

9月11日(土) 天神小学校
参加者 42名

- 1年 おいもほりがたのしいです。でっかいおいもがとれました。
つかれたけどふかしいもを食べたら元気になりました。
いもをとるのはひさしぶりだけどすごくたのしかったです。
5年 ラッキーかぶが2つあってラッキーだった。時間がかったけれど大きいのがほれてうれしかった。最後はスコップをかしてもらってがんばったけれど折れた。おいしく食べます。イエー！
保護者 農地の間をひたすら歩き、時折涼しい風に吹かれながら自然を十分に満喫しました。子供にとっては長い距離でしたが大きなサツマイモを掘り当てた時は大喜びしました。よい経験になったと思っています。ありがとうございました。

残暑が厳しい日でしたが、自然の中を楽しく歩きました。みんな汗をかきながら、夢中になって一生懸命おいもを掘りました。



青柳正雄氏農園にて

さつまいもハイキング

9月17日(土) 石川小学校
参加者 58名

- 1年 さつまいもがいっぱいきてたのがたのしかったです。
3年 さつまいもおいしかったです。
4年 いっぱい歩いて大変だったけど、さつまいもをほったり食べたりして楽しめた。
6年 ほるとき、おれたりしたけど、大きいのがほれてうれしかったです。最後に食べたサツマイモおいしかったな～。また来たいです。
保護者 思っていたよりも遠くてびっくりしましたが意外と歩けるんだなと感じました。たくさんのお芋が掘れて良かったです。土をさわると気持ちがいいですね。



青柳正雄氏農園にて

さといもハイキング

11月13日(土) 俣野小学校
参加者 31名

- 1年 つかれたけどたのしかったです。さといもがおいしかったです。
3年 さといもとかきがすごくおいしかったです。また家に帰って食べます。楽しみです。
4年 道が長くて大変でした。サトイモを分けるのがボキボキいっておもしろかったです。サトイモは塩もあまだれもおいしかったです。
保護者 ふだん歩きなれていないので、大変でしたが子供と楽しい時間を過ごせました。さとももとってもおいしかったです。

肌寒い中の出発でしたが、自然の中をたくさん歩いて畑に到着。さといもを親芋からボキボキとっておいしく試食。平川さんから柿もいただきました。



平川方祥氏農園にて

青少年健全育成強調月間事業

講演会 「子どものホ・ン・ネ」

講師:教育ジャーナリスト 青木 悅 氏

開催日 平成22年11月9日(火)
会場 六会市民センター3階大ホール
参加者 131名

プロフィール
高知県中村市(現・四万十川市)生まれ。
「朝日中学生ウィークリー」「ふえみん(婦人民主新聞)記者を経て、現在「いじめ」など子ども達の状況を取材・執筆するとともに、全国各地で講演活動を行っている。



全国各地で講演活動を行っている教育ジャーナリストの青木悦氏より、子どもの成長を見守る中で大切な親の姿勢について、ご自身の子育て経験談をまじえてユーモアたっぷりに大変分かり易くお話し頂きました。

- ・親の理想である「幻の子ども像」をわが子に押し付けない
 - ・「学校は舞台で家庭は楽屋」
 - ・子どもが家に帰ったら正直に自分を出せるようにしてあげるなど
- 心に響く言葉をたくさん聞くことができました。

参加者の声



私の心の中にもないもののねだりの「幻の子ども像」がいるなあと思いました。

子どもが本音を話してくれるような親でありたいと思いました。

家庭の重要な役割を再認識しました。

大きな心で子ども達を見守りたい。